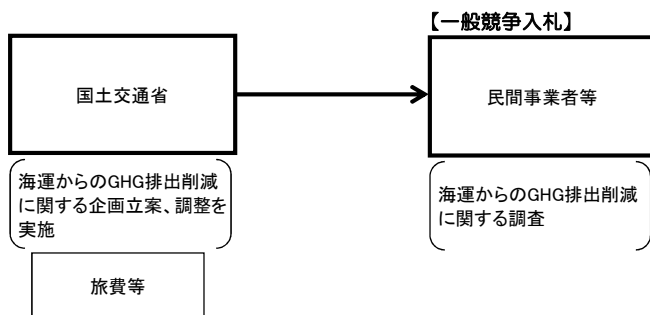


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海運からの温室効果ガス等環境負荷低減に関する総合対策		担当部局庁	海事局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H25～		担当課室	海洋・環境政策課		課長 平原 祐	
会計区分	一般会計		政策・施策名	3 地球環境の保全 9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	海洋基本計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海運分野のCO2排出削減に資する経済的手法等の国際基準が策定される予定であることから、世界有数の海運・造船国として、基準策定に関する議論をリードし、海運からのCO2排出削減による地球温暖化防止対策を推進するとともに、我が国海運・造船業が得意とする省エネ・省CO2技術力を発揮しやすい環境を整備する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際海運からのCO2排出削減についてはIMOにおいてMARPOL条約付属書改正により確立された船舶の燃費規制制度の対象拡大や経済規制制度の検討が進められているところ、基準策定に関する議論をリードし、我が国海運・造船業が得意とする省エネ・省CO2技術力を発揮しやすい環境を整備するため、我が国海事産業への影響分析や燃費規制の対象船舶の拡大に伴う影響分析等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				17	17
		繰越し等					
		計				17	17
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、海運分野からのCO2排出削減による地球環境対策を推進するための調査事業及び国際対応のためのものであり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。			成果実績	-	-	-
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は、海運分野からのCO2排出削減による地球環境対策を推進するための調査事業及び国際対応のためのものであり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。			活動実績 (当初見込み)	-	-	-
				()	()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	135千円	135千円				
	職員旅費	2,241千円	2,214千円				
	委員等旅費	77千円	71千円				
	地球温暖化防止等対策調査費	14,177千円	14,177千円				
	計	16,630千円	16,597千円				

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	IMO及びCOP等において、急ピッチで国際海運分野における温暖化対策が検討されているところ、これらに対応することは国の責務である。基準策定に関する議論をリードすると共に、我が国海運・造船業が得意とする省エネ・省CO2技術力を発揮しやすい環境を整備するためには、国費を投入し必要な調査等を行う必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—				
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名	
点検結果	外部支出については、一般競争入札により競争性を確保する等、適切かつ効率的な予算の執行に努める。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
適切かつ効率的な予算の執行を図るべきである。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	チームの所見を踏まえ、真に必要な案件を選択するとともに、調達方法の見直しを行うことなどにより、効率的な予算執行とする。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					